

新しい福島県総合計画の基本的な考え方

1 計画策定の背景

○ 社会経済情勢の急激な変化

人口減少、高齢化の急速な進行
→ 県の活力維持に大きな懸念

食料、エネルギー問題の顕在化
→ 県内産業、県民生活に影響

地球温暖化をはじめとする環境
問題の深刻化
→ 地球温暖化が身近な問題に

・・・など

早急な対応が
必要

○ 新たな対応やさらなる対応が必要と考えられる主な課題

地域の
活力維持・向上

安全・安心
の確保

地球的観点に
立った環境の保護
・エネルギー対策

人づくり・
地域づくり

・・・など

2 新しい計画の考え方

○ 長期的な視点の必要性

長期的な社会経済情勢への対応
(人口減少、食料、資源エネルギー問題、環境問題)

長期間にわたる視点が必要な取り組み
(次代を担う人づくり、地域づくり)

子どもたちが親世代となるまでの将来を展望したうえで、豊かな福島県づくりを進めていくことが必要。

○ 柔軟な施策展開の必要性

急速な社会経済情勢変化への対応 (原油高、サブプライムローン問題など)

急激な社会経済情勢の変化に対しても、時機に応じて柔軟な施策展開を図ることが必要。

【計画期間】 30年程度を展望した、計画期間5年の計画とする。